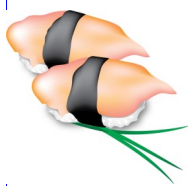




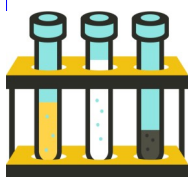
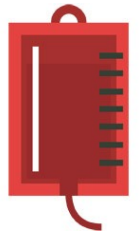
## 寒い季節のお腹のかぜ、ノロウイルス！

牡蠣の美味しい季節到来！調子に乗って食べ過ぎて気持ち悪い！お腹も下した！これって単なる食べ過ぎ？それとも。。。細菌やウイルスが原因となる胃腸炎が感染性胃腸炎ですが、**冬場に流行する原因の大半はノロウイルス！**胃腸炎の人の便や吐物から直接人の口にウイルスが侵入しますが、ノロウイルスは感染力が強く、手指を介した接触感染や手すり・ドアノブなどからの二次感染も多く見受けられます。最近、公共の場でよく見かけるようになった**アルコール消毒も、ノロウイルスには効果がありません。予防の基本は手洗い！**トイレの後や食事の前には「流水と石鹸による手洗い」に心がけましょう。親指や



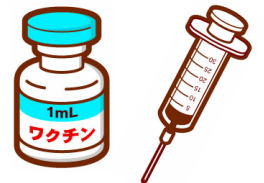
指先、手のしわなどは手洗いが不十分になりやすいのでしっかりと意識して洗う事が大切です。使用するタオルは共有せず、個人専用またはペーパータオルがお勧めです。また、ノロウイルスは牡蠣、あさり、シジミ、蛤といった二枚貝に多く潜んでいるため、生食は出来るだけ避け、85～

90℃で90秒以上加熱する事が必要です。体内にウイルスが入ってからおよそ**24～48時間で突然の嘔吐、下痢を発症するのが特徴**で、発熱を伴う事も少なくありません。子どもからお年寄りまで、誰でも何度でもかかる可能性があります。症状は数日で収まりますが、**嘔吐や下痢による脱水を防ぐため、十分な水分補給に努める事が重要**です。水分摂取が十分出来ない場合には点滴が必要となってきますので、早めの受診が必要です。診断には、糞便中のノロウイルスを検出するノロウイルス迅速診断



検査キットを使った「ノロウイルス抗原検査」がありますが、3歳未満や65歳以上の患者等の限られた人にしか健康保険が適用されません。結果が早く出るメリットがありますが、ノロウイルスに感染していても陽性とならない場合もあり、ノロウイルスに感染していないことを確かめることはできません。

現在ノロウイルスのワクチンも開発されているところですが、いまだ特効薬はありません。**これまで検出例が少ない、新しい遺伝子型のノロウイルスによる流行拡大も懸念されております。**三重県においては現在、国立病院機構三重病院を中心として、有効なワクチンを開発するためどのようなタイプのノロウイルスが流行しているかを調べる、厚生労働省の研究が行われております。



当院においてもこの研究に協力をしており、ノロウイルスの感染が疑われる方に対し、検体として便の提供をお願いする事がありますので、御理解・御協力の程よろしくをお願いします。